

發行所 田代村公民館  
電 話 1 番  
發行責任者 上田政吉  
編集責任者 小川兵一  
印 刷 所  
鹿屋市曾田町 6 6 4 7  
南日本新聞社東部支社  
電話 88.98.126 番

お手もとの現金は  
とにかく貯蓄しておきましょう  
主婦の方は家計簿をつけましょう

## 貯蓄の増強と

國民義務の遂行を――

村長上田政吉

多事多端な昭和十七年も何時しか夢のまに過ぎ去り茲に昭和二十八年の新春を迎へ、眞に御目出度う御座居ます。

旧年中は色々村政の爲め御協力いただき誠に感謝の至りに堪へませぬ。七年振りに独立国として確しし新年を迎へ例年に比し言

一、教育の殿堂が完成に近づいたこと

学制改革の爲め校舎の新築に連年苦戦して居りましたが大原中學校の特別教室を除き大體結構にいたる様だ時に我々が力留を入れたに即ち働きつゝ學ぶ足時制高

二、教育の殿堂が完成に近づいたこと

例へば貯金の実績がグン／＼上つて居るし猪鹿野部落が率先親子ラヂオを取付けた事や青年團と婦人会がそれ／＼酒好な施策を講じて居るなど其他大小幾多の事例があります。

うに言われなすくしい気持ちで過にし、今年を回顧し向來るべき一ヶ年を展望しに見ましよう。昨年充分ではないが其施設をする事が出来得まして、先生方も張り切つて居らるゝ生徒も眞剣に勉強する姿を見て未頼しに感じます。其他別列挙する必要もないと思ひますが、兎も昨年とは讀和猪勉の年にふさわしい多事多幸な年だつたと思ひますが、一面実に遺憾に感じます。

またこと  
十數年即ち、毎年々々風害や其の他の天災に見舞われ牧園が打続きまして私共村民は三丁四苦八苦の

たこと  
一、国有林打上問題の見送がついて上らない事です。昨年はあらゆ

る方法手段を講じ、個制徴收迄をやりましたが、張眼駄目です。其成順

[illegible]

所感

敗戦という惨めさから漸く独立の年を経て茲に初めての新年を迎へ得たことは日本人として等しく歡喜に満ちた思いでありました。それについて誰しもが挙つて日本国を再建せねばという自覺が強く湧いてあります。『敗戦で而して愛しこの国の子、子ふたゝび立てばなお愛しも』の短歌は諷刺和効の日の某氏の感懷であります。嘗て吾々もまた深く共感します。嘗ては世界の一等国であつた我が日本国が資源的には富餘になり得なくとも學術産業の文明に、道義精神の発揚に、所謂文化面においてはなれません。その文化の発展を新年に希望したいものです。我が郷土田代は村長を中心とする爲政責任者を得て、村民和合一致各種産業の発展、交通の発達、教育の促進等が幾多の苦難を越えて、特に苦しい財政面をよく打開して各種の計画が急速に伸展しつつあります。幸いにして昨年は稀有の豊作に恵まれ和樂の新春に屋敷を拜うことは和やかな村民一同の心情であります。更に心を新代について強い愛郷心より我が村の將來の繁栄に奮起せねばならぬと念じます。

これ順うというので未端半ばを擲り左右されました。時に教に關しては教育勅語と憲法を以て支配されたものでありましたが新憲法布令されたからは主權在民の趣旨に於いて國民の責任を各種方に即歸した処理が必要となりました。要換期にあつては財政面、文政があつたり制度に色の批判が論議することは止むを得ないものであります。終てが民意愈々反映しては成立したものであります。従つて忠孝の途が公の爲に爲さるべきでありまして、社会を構成すべきでありまして、

義務を果すことにより共存共栄となつた。眞の愛國心とか愛郷心が發展するのではありませんか。

又職業の發展に關して經濟自立化となつて生活改善とか強く叫ばれますが、要は村民各自の教養が高まり、科學的な工夫研究と眞剣な體験努力が根本として大切でありますよう。部落で家庭で各々その構成員に對しその人柄を尊重すると共にその責任を期待します。特に家庭における主權の立場は男性への依存主義から脱して責任を自覺して家庭生活を伸展すべきであり、青年は自らの研修によつて独自の將

きてあり、長老者は自らの責任と共にと共に益々壯年に時勢即ち勉勵せねばならぬと思ひます。本年は多年待望された中の開通、国有林払下げ、薮川改良区設立等眞に劃期的重大件が解決されねばなりません。吾々は田代村永遠の繁榮のために希望の達成に邁進しましょう。

村教育委員会  
委員長 岩 下

# 經濟自立化運動

初年度を顧りみて

諷和発効の記念すべき年に経済自立化運動を展開し各部落には振興小組合の発足を見、各人は我が家の経済自立化目標を計画したのであるが過ぎし初年度の歩みを回顧し新年度の参考に資した。

経済自立化運動は過去の産業振興五ヶ年計画を中心として足りない分を補った総合的な計画であり云わば五ヶ年計画の成長したものである。

二十六年度は村長の年頭の挨拶も村民全部が我が家の五ヶ年を期する年として縣の経済自立化が計らずとも縣の経済自立化が提唱され各町村は形ばかり振興小組合を造り経済自立化とは振興小組合を造ることでの感があつたが本村は前にもた通り昨年度努力目標としたもの

重なる  
する  
に  
応に  
中央  
典典  
土地  
に案  
め  
新年  
う。  
に  
昨年  
れ生  
と云  
ばな  
3、畜  
一畜  
に對  
の意  
非常  
に

解放され百數十町歩の田畑が増反出来ることとなつた。

2、茶葉振興  
茶葉は五ヶ年計画の当初から滑り出しが毎年計画の二倍の新植が行われ本年度も八町歩の計画に對し十四町歩の新植が行われて荒廢園も年々台刈更新し肥培管理が良くなりつゝある。

昨年も述べた如く生葉の摘採が後れ生品が下級品を生産されつゝあると云ふことは今後改善しなければならぬ努力点である。

3、畜産振興  
一畜産に對する村民の意識は非常に

進会に出場、等賞を獲得し九州地反共進会、出場四等賞を獲得したこととは今後の田代馬の價値としたことに相當の効果をもたらしたものである。本年度は郡畜産共進会に馬も牛も飼羊も山羊も豚も鶏も出品し総合成績の優勝を目指し畜産村田代の眞價を發揮したいものである。

4、養蚕振興  
五ヶ年計画の内昨年度迄計画通り進まなかつたものが養蚕であつたが村議會の熱意により養蚕技術員を設置して敷き現在は目玉ましい養蚕をなしてゐる。二十六年度

昭和二十七年度は商業五ヶ年計画  
が漸く軌道に乗り、商業五ヶ年計  
画を中心とした総合的な経済自立  
化運動を展開され各農家は各々計  
画を樹立され今後の進むべき方向  
を確立し希望に満ちて働ける基礎  
が出来た飛躍的年であつたと思  
つ。

前にも述べた通り本年はこの希望  
ある計画に向つて各自が各小組合  
が第一歩を踏み出す御目出度い年  
である。各農家各小組合は年頭  
に本年度の進むべき方向を再認識さ  
れんことを望む。

文  
 明  
 が家  
 族へ  
 ある  
 運動  
 の活  
 躍に  
 化選  
 ので  
 計画  
 によ  
 り移  
 住に  
 影響  
 した  
 こと  
 であ  
 る。又、病害防除に對しても  
 一昨年は相當の被害を受けたも  
 のが、病害防除に對する技術員  
 の指導をよく守り然も最近自主  
 的に小組合に撒粉器、噴霧器の設  
 備をなし防除が徹底しつゝ、あり今  
 後益々この方面に努力し技術員が  
 ならない。肥料にしても技術員が  
 慣性施肥を奨励してその慣性肥料の  
 普及も徹底し従來の高い骨粉が販  
 逐されつゝあることは増殖と生産  
 費の節約に一大進歩を遂げたこと  
 が確認されるべきである。  
 耕田面積とては第二内之牧地区  
 （大原の割）百七十一町歩が農地

頭數が減少した本年年度は相當増  
 殖されることが予想される。生頭  
 價格は家畜の價格が上つたので、頭  
 數は少いが総生頭額は計圖約二  
 割に對しては本年年度は自己資金に  
 より又政府の特別融資も若干相當  
 増殖出来るを思う。然し未だ役用  
 を主とした牝牛が多いが生産を兼ね  
 る役用牝牛に切替へないればは  
 すべきは、農家が非常に多い。特に  
 なるべきとは郡畜共進會に於て  
 昨年に引続言馬の部で優勝したこ  
 と及び小川藏さんの馬が縣の共

を収得し本年度は昨年の二倍の收穫を予想され本年新植も四町歩を予定し苗の斡旋に農協の中心手は聲し悲鳴をあげてゐる状態である。

麓川土地改良区設立に就いて

計画を閣下のためでなく、然し私利のため  
つて一步を踏み出すのは本年度で  
ある。幸にして昨年は万作費で  
経済自立の第一歩を力強く踏み出  
すことが出来るのである。小組合  
活動にして昨年十二月号で述べた  
通り自主的な活動が行われず各  
各種機關の末端組織の感が有る。  
本年は各小組合共自主的な活動が  
活潑に行われることを期待して  
いる。次に経済自立化運動の中に盛  
り込まれた産業振興五ヶ年計画を  
項目別に反省して見ることにす  
る。一、食糧の増産  
食糧増産の面は結果に於て豊年であ  
つた。而しこれは天地の恵に依  
る処が過分で我々は此の豊作に溺  
れていてはならない。勝つて兜の  
緒を締めよと云う言葉がある。現  
実に學ばなければならぬ。  
我々が食糧増産に努力し、一、食糧の増産  
が田代村は台風進路の南支岡とな  
る。この位置になり年々大々此  
の自然の猛威の爲に危大なる災害  
を受けて居ります。忘れる事の出  
来ない一昨年襲つたルース台風四  
五年前から襲ひかつたこの台風の暴  
威はたまことに言語に絶するものが  
あつたのである。然し私共は  
此の天災に屈する事なく自力を以  
つて起ち上る堅固に覺悟と勇氣を  
持つて不眠不休の努力を続け復讐  
に邁進せし居るのであります。  
然らば我々は忘れた頃に來ると言わ  
れます。日頃から此の天災に備へ  
て災害を最少限度に喰ひ止める策に  
ければならぬ。感念の正め策に  
就いては皆確様に忘れられなされ  
つてある事と思われませんが特に釧  
路川が氾濫し、此の河川は狂つた釧  
路川が一度暴らなるとの通りは氾濫  
し水の浸は五十町歩を超え、  
家屋も畜舎も機に晒され尊き人命  
を奪ひ、汗と血の涙で育てた生活物  
を奪ひ、  
盤は根底より覆さされてゐる。こ  
れであります。斯る釧路の水を流れる  
儘に放置しては良いのでしょうか。  
我々は不撓不屈の精神を以  
つて此の釧路に於ける天災と闘は  
なければなりません。此の意に  
於いて釧路市土地区改良会を設立、河  
川の改修、土地の耕田の整理をなし  
年々暴威を振う天災を防ぐ事が我  
々に与へられた義務ではないでし  
ょうか。斯る時に理想の農業の經  
営を計り経済の自立は勿論生活の  
安定は計られるのであります。  
我々は此の意味に於いて土地区改  
良会の設立をなすは災害を未然に防  
止する事が義務であると考えられ  
る、去る十二月十六日同係地区  
の代表者を集つて救急発起人會を  
開催し、諸々と計画を進めつゝ、釧  
路市改定良区設立の爲に何卒諸方  
の御協力と御努力を御願ひ致し度  
いと思ひます。

1953年			
大	田	大	日
局	局	校	校
原	代	原	作
長	長	長	長
郵	郵	小	稅
野	篠	肥	所
田	原	後	職
靜	便	員	員
男	局	貢	篤
同	亮	校	美

謹	賀	根占高等學校田代分校 主事 笹原 享 外職員 一同	田代中學 校長 名ヶ迫 廣 外職員 一同	田代中學校大原分校 主任 中野 耕逸 外職員 一同	田代中學校 校長 中野 耕逸 外職員 一同
---	---	---------------------------------	----------------------------	---------------------------------	-----------------------------

新		
主事	小川兵一	外職員一同
委員長	小牧昌男	外委職員一同
田代村社會教育委員會		
田代村選舉管理委員會		

田代村 公民館	田代村 教育委員會
委員長 岩下峻	委員長 岩下峻
副委員長 原沢美代二	副委員長 原沢美代二
教育長 湯之谷米吉	教育長 湯之谷米吉
外委員長 職員一同	外委員長 職員一同

1	月	土
副議長	副議長	副議長
上原誠二	上原誠二	上原誠二
外議員一同	外議員一同	外議員一同
田代村農業委員會	田代村農業委員會	田代村農業委員會
委員長	委員長	委員長
外委員職員一同	外委員職員一同	外委員職員一同

[illegible]



助役兼教育長 湯ノ谷 米吉

昭和二十七年に終戦後、第一期の復興案としていた台風もなご天候にも恵まれ農村に何となく天恵の年で各種作物は何十年來の豊作であり天恵に對し感謝感激の外ありませんそれに又昨年は將來日本の象徴とならせらるゝ皇太子殿下の立太子の祝がとり行われましたことは眞に明るい日本国の將來が察せられ且つ又世界各国訪問の旅出の御子でも発表され平和日本と世界への飛躍も思われ再建日本門出に何か知らぬ強力さを感ぜられてなりません。

本の苗木養成されて居りやがてシユロ田代の名を得るのも最速いことでは無いと確信しているものです。家庭工業としてのシユロ田代作加工も目論んでしてシユロ所田代を一層発展したいと思ひます。

昨年度標準作も目標額一千五百万円を突破し耕作者の氣勢を挙げ得ましたのは眞に祝慶にたえません

今年は更に新しい目標に向つて力強く推進せねばなりません。茶業も昨々向上の跡をみ玉場の増設技術の向上修練園の手入熟練な技術員の指導によつて年々向上の一面にあり昨年の摘採競技会などあ

めたる縁のカーテンの映えれたおけはないと嬉しい日もあるに此の美しい自然の中にあるに如何に吾が村は財政資金をか不思議でならぬ豊地に浸りました。

豊かな極りの年の晩秋の此を必ずや新春を迎え名実共にた田代村の建設に村民協力ではありませんが、恵まれ村のほごりをもち天恵を深れつて今年こそ消費も最低限消費しめ営業資金に或は納税し、一人の意納者もなくす

林  
憲  
之

く飼牛の声、夕日に照り輝く美しい一を記した次第です。

二八三である。此の有名な墓の

一等小園登一郎(山下)

1990年11月

昨年來縣下全股經濟自立化運動を

の「世」と吐く」とは、既に「五

部落各家とも自立化への計画は

しよう二ヶ年間の諸行事の簡素化

人は生命糧食のものではない。命を致したいと思ふ者は、去る十一月二日、は次の表の通り、食物しらべ

います。  
十七日兒童の昼食  
でした。

べる習慣が必要だと思ひます。  
次に龕の面を一つお知らせしま  
す。去る十月六日の調査では、毎  
朝歯を磨く児童は全体で十七%で  
たが次の表では四十五%に向上

です。子供に健康的な夢をなさしめると共に父兄も病氣にならぬ前にお互い協力し、注意しましょう。御協力をお願いします。

日代小学役員連部

の坂を上つて行きましよう。  
輝しい昭和二十八年の新年を迎え  
よりよき村づく

第であります。  
(財務課長)

## ユース

粟	三九六	三〇	五九	三三
米	三九六	三〇	五九	三三
米	三九六	三〇	五九	三三
麥	三九六	三〇	五九	三三

毎朝齒を磨きます  
時々磨きます毛  
毛  
毛  
毛

三 七 五 一 五 二 五 三 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五  
五 五 五 五 五 五 五 五

家にとつては水陸稻の大豊作大増収をはじめ甘藷、雜穀の大増収たばこ作の目標突破とほんとに恵まれた年で、と。島友司年間災害

ますが、今日の如くわずかに独立の第一歩を踏み出した日本であり、再建への道は、いはらの道である。この難局に直面したとき直接これ

武田信玄は宿敵信州の上 先ず考え

れるのは、

昨年の恵まれた豊作は確かに過去の苦悩の因を解消してくれると共

いところと思われまゝ。この年に  
あたつて田代村の現状を考へてみ  
まゝと産資約には阻免増納貳百余

## 系文子

自  
日  
笑  
二

縣教育委員 田 栄 二







田代郵便局長  
篠原亮

新春を壽ぐ

紅毛にはシヤムやルマ迄もその版圖を拡げました。しかし後には元やシヤムの爲圧迫され、十四世紀の半世紀にこの都を棄て、他に移り、その後全く衰えてしまつたというのであります。

アンコールとは都城という意味で、ワットとは寺のことだと云います。即ち都城の寺院とも云ふべきこのアンコール・ワットはこの国の隆盛時に建立せられ、横八百米縱千五百米に及ぶ見事な鉄鑿土壁に致します。

新しい年を迎へ、皆喜ぶ御節にわたられ御めでさう御座います。

昭和廿七年、それは田代村賜協にたり苦難いあえぎ、これを切掛けの爲に経営員懸命の努力が傾けられ、それが報はれた思出の年でありました。誠にありがとう御座いました。

本年も初日の出の爽やかな氣持で、あみな賜村を礎き上げる道をすゝみませば、層の御協力を祈念致します。

う。

この発見に先ず凡そ二百年前  
の面白く事実は、アンリ・ミユ  
の発見以來神秘なるクメール文化の  
遺跡として世界文化史上一つの大  
きな謎を投げかけたものなのであ  
ります。

このアンコール・ワットにつぎ一  
つの面白く事実は、アンリ・ミユ  
の発見に先ず凡そ二百年前

から凡そ一千二百八十年の昔であ  
ります。この大昔の文化的遺物が今  
なお最近開墾されたのと殆んど姿

形を失ひて居る。

昭和二十八年元旦

田代村農業協同組合

かつて世界の各強國がフランス大  
革命のさかまけで怒濤におし流され  
その國家の根柢に深刻な動搖を來  
さんとした時、英國の偉大なモロ  
人にして政治家であつたエドモン  
ドバークは、この革命の直相をて  
づけて「社会生活の恒常性な  
くしては文明は成立し得ない」と

即ち寛永年間將軍德川家光の命により印度の祇園精舎（きおんしや）より印度の祇園精舎（きおんしや）を尋ねに行つた長崎の島野某なる人が、このアンコール・ワットの遺跡にたどりつきこれを祇園精舎と誤りその取敢圖をもたらしつたといふのであります。

祇園精舎といふのは源氏時代の物語を傳へるかの平家物語といふ本の初めに「祇園精舎の物語の声隨行無情の響あり」といふ句で、日本人にも有名な跡であります。

そこで釈迦は法を説き又死者ある再にとこの寺の鐘の音は諸行無常云々々の教を授けて響けと云われるのであります。

私共の眼前に実在する事實を見、私は日本と古代理の盛んな時代をしたのんで胸とさうかす想いが致したのであります。

これは無論正倉院の建物そのものが、所謂校倉（あせくら）式といふ建築様式で濕氣を防ぐによつて御物の保存管理の仕方が適切であつたことによるのでしようけれどもそれ以上にこの宝庫の扉に古來嚴重な勅封が施され、開破の際には必ず勅使が遣われ、莊重な儀式によつてその開封が行はれて來たといふ、その勅封の條證に於てあるものであることを信じて疑いません。

実践したい

## 正月の簞

- 一、正月三日間は國旗を
- 二、門松は必ず枝松にし
- 三、料理は二品以内に止
- 四、回礼は親子兄弟、近
- 五、贈答品は親子間に止
- 六、村では年始会を行います。

い。

二、外出する時は鍵をした上隣に頼んで出しよう。  
三、外出する時は必要以上の金を持たないようにしよう。  
四、駅、バスの待合、客室内、デパート等では品物はしっかりと手許に持つて居る様にしよう。  
五、酒を飲んでから道端、待合室等に舞だんしてしまうことは一番危険です。  
六、夜間の一人歩きはなるべく避け、廻り道でも安全な道を選び特に女子供は気をつけよう。  
七、寝る時は必ず灯を消して窓内を暗くし外を明るくして騒んで下しよう。  
八、泥酔に置入れられた現場をそのまゝにして警察に届け下しよう。

九、買出し、物置ける場へ犯人が多いから注意して下しよう。  
十、見知らぬ人の前で金の出し入れは注意して下しよう。  
十一、商店の商品は良く整理して店先の監視を強化しよう。  
十二、二十才未満の者が煙草を吸い酒を飲むことは禁止されて居る。又これらの者が消費する處に買つた時には買つた人を処罪に買つます。  
十三、古物商、質屋は二十才未満の者から物を賣に取つたり買受けることは控えよう。  
十四、子供の不良化は休命中が一番多い。休命中でも規律ある家庭生活を営みよう。

根占地区警察署

農協生産課  
鍋  
技

一、塋防の方針  
本村は氣候溫暖で農墾と有利な地  
位に置かれて居るにもかゝらず  
近年風水害に見舞われ被害甚大  
有る。かゝる際本村の氣候風土に  
適した好適産業であつて風水害に  
對しても抵抗強く、むしろ防風  
防砂の効果が有り、農墾經營の一  
部に導入する事は本村農産物の綜  
合の生産水準を高める要因と成り  
賜家經濟を向上する最良の方策と  
成る重要産業と有り。村は某業の  
計画的な振興を図る爲昭和十五年  
度より某業振興五年計畫を樹立

# 正月の簡素化運動

実践したい

## 正月の簡素化運動

一、正月三日間は國旗を掲揚しましょう。  
二、門松は必ず枝松にしましょう。  
三、料理は二品以内に止めましょう。  
四、回礼は親子兄弟、近親間とし、男三日、女は五日以内に済ませ、献杯ナンコ、長座は出来るだけ自粛しましょう。  
五、贈答品は親子間に止めましょう。  
六、村では年始会を行い、一般回礼は廢止します。

次にこの計画のあらましについて記述してみよう。

(イ) 品種改良計画

現在本村は品種物として印雜二號の実生約六反と採樹園用として關林省知縣茶原種楊より苗木一反歩分を受附けに居り、苟又觀北種、關藤原二七八號、奈良原五九號等綠茶優良品種が約五反歩分位が挿木に依り育生されて居るが、之を母樹として村の委託経営に依る採樹園を造成して近き將來本村全体の茶園を植替る等且急速に優良品種に依る樹園も急務で有る

# 農協と文化事業

は大眾のために、大眾は個人の  
ために、といふ、いわゆる相互扶助  
精神を基調として組み立てられ  
ており、組合員に最大のサービス  
することが組合の目的であるこ  
ろはいまさら言うまでもないこと  
であつて、したがつてどうしても  
明年度の静岡より留木購入の予  
定がある。

のであつて、そうした考への上  
であることは次の例からも明らか  
であらう。

農業協同組合の事業は組合員の完全  
な協力によつてはじめてなしと  
げることができるのであつて、組  
合員の協力をするためにはその事  
業の内容や方々などについて十分  
組合員に知つてもならなければい  
けません。組合員としてある者は

已）茶園増植計画  
振興興五ヶ年計画に依り年々増  
されて居るが昭和三十年度には  
茶園二五町歩畦畔茶園七九町歩  
巨二町歩に増植する計画で有り  
す。

四）製茶増産計画  
在本村の反当生産量（製茶）四  
貫を栽培法の改善に依り六〇貫  
を増加せしめ、製茶生産高昭和三  
十五年には約六二、〇〇〇貫に

告書の内容がよく理解でなないとい  
うのでは、組合に協力したくも  
どうしていかわからないにちが  
いない。だから組合員にそれ以上  
の協力を求めるためにはそれらを  
理解できるだけの組合員の教育が  
必要なのであつて組合の教育事業  
が何にも増し重要な理由がこう  
したところにもあるのである。

ここで一応おとわししておきた  
ことは組合活動においては文化事  
業が第一に必要であることである。

掃除して居るの之を台刈又は  
 刈更新して園の整理に努力して  
 産力の増加を図る。  
 ②梨茶工場の増設計画  
 和廿五年度（現年度）より年二  
 箇増を計度し、現在九工場有る  
 を十六工場に増設すると共に卵  
 殻を次々五ヶ年計画に依り更に十工場  
 増設する計画に有る。  
 ③計画遂行の方法  
 茶葉先進地の視察研究  
 各種茶葉品評会の開催  
 各種茶葉観光の開催  
 各種茶葉講習會話会の開催  
 茶葉専門家の獲得

かんわらず、ここではほとんどのこ  
 つやに於て考へてゐることにつ  
 いてであるが、これは現在の段階  
 において文化事業を考へる場合、  
 教育といふことがまず第一に考  
 へなければならぬことは前述の  
 通りであつて、文化事業と教育事  
 業はきまりはなつて考へることは  
 できないものであるからである。  
 ところで農村文化の向上を叫ばれ  
 るようになったのは戦後にはま  
 だかつてはな、農村の若い人  
 たちが集つて文化の向上をめざし  
 て研究会を開いたり讀書会をもち  
 りてお互に勉強しあつた例はあ

農協の発展は村づくりの大きな要素である

特等  
5  
万円

割増 金附 村づくり 定期貯金を  
唯今農業協同組合では  
募集中であります

当籤率のとてもよい  
一口五百円 一ヶ年  
無記名無税空く  
取扱いは  
昭和二十八年二月十四日迄  
抽籤は  
昭和二十八年二月二十日  
賞金の支拂は  
昭和二十八年二月二十七日  
から

特等	50.000円
1等	10.000円
2等	1.000円
3等	500円
4等	100円
5等	17円

主 鹿 兒 島 縣 各 市 町 村 農 業 協 同 組 合      後 鹿 兒 島 縣 ・ 同 教 育 委 員 會  
催 鹿 兒 島 縣 信 用 農 業 協 同 組 合 連 合 會      援 農 ・ 林 中 央 金 庫



編輯後記

去においても数多あつた。しかしそのような集まりはほとんど長つゞきせず、観音香火のように消えてしまふ場合が多かつた。それは、そうした集りには必ずその中心になつて運動していたわけゆる指導者がいて、それらの指導者が熱心な間はよいが、何かの都合でそれらの指導者が村を去つたり文化運動に對する熱意をなしたといふような場合にのみみられたし、また文化運動が思ひつゞきで行われ、計画性が少しもなかつた場合とか、あるいは経済的な裏付けがなかつたために経済的に破綻してしまつたといふ例が多かつたようである。

とすると、ここにもまた農協協同組合が文化運動にのりださねばならぬという理由があるわけで、組しが村公民館と一緒にやつてそうした運動の世話をしようといふことになれば、組合がなくならないかぎり、指導者がいなくなつてうやむやになつてしまふおそれもないだらうし、経済的な裏付けといふ面から言へば、組合が行はずはまず金銭が少く、少なればならぬであらうかである。

このようにあらゆる面から考へて、農協協同組合における文化事業は大きくとりあげられねばならないことなのである。

◆昨年度の順調な天候は万作を豊かに稼らし、数年來あまり続けた國家經濟にほつと一息つかしてくれた。今年も又同じ年であれかしと願うのは人情であるが、天候に人の心は通じそうもない。「備えあれば憂はなし」と悪作の酢から覚めて災害に備えよう。

◆「年度の正月」こそ久方振りに迎えた翌年の正月だから、簡素化運動などせよと大に散めたいに喚々と称えてもらいたい」「この言葉の批判は皆さんにお任せするが、質の悪い鉄線熱すればぼう脹し、冷せば縮まる。金銀の様な高級品は、熱しても冷しても相縮むの性質が少く、少なればならぬであらうか。」

◆せいぜい親野に立つてせいぜい範範の仕事にばつ頭するとしか知知知らない人は良い人ではないと云ふまでもない。しかして親野と社会の仕事に従事したがるである。是れ望ましい！社会は嚴に親野に立つてせいぜい範範の仕事に専念するところを喜ぶ本人であらう。

◆物(經濟)と心(精神)とは恰も車輪の一方の様なものであり、何れの一輪の輪が欠けても、大小のもの異があつても運行に支障を來すことを免れずともなるのである。

昭和二十八年度こそは、元日に際して大計に従ひ、お互い村民が親睦和合して、物心両面に亘る自立化運動を強力に推し進め、住みよしの郷土の建設に熱意を傾けたいものである。